

高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議（新見部会）議事録

日時：2022年5月26日（木）

13：30～15：00

場所：新見市役所 南庁舎 3A

出席者：15名

新見市医師会2名、岡山県介護支援専門員協会新見支部1名、新見市地域包括支援センター2名、新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく2名、岡山県備北保健所新見支所1名、岡山県備中県民局健康福祉課1名、岡山県備中県民局長寿社会班1名、たいよの丘ホスピタル6名

1. 開会 部会長 哲西町診療所 土井先生より挨拶

2. 令和3年度たいよの丘ホスピタル認知症疾患医療センター実績報告

たいよの丘ホスピタル 児玉センター長より

3. 意見交換

(1) 令和4年度の高梁・新見地域認知症疾患医療センター地域連携会議について
任期更新に伴うメンバー変更の確認

(2) 令和3年度研修会報告

Zoomを用いたオンラインでの研修会を実施できた。50名の参加があり、アンケートからはオンライン上でのグループワークであったが好評であった、グループワークを久しぶりに出来て良かったといった声が多かった。

(3) 令和4年度新見部会研修会について

- 年2回の研修会の実施を予定する。
- チームオレンジを令和7年度までに地域に作り上げていけるよう取り組んでいる。その為には、認知症のサポーターの力が必要で、昨年度から認知症サポーター養成講座も開催してきている。地域連携会議とも共催でチームオレンジを推進していけないか検討していきたい。
- 認知症の方がコロナ陽性になった場合の困難事例を聞くようになった。独居で家族が遠方の場合にどう支えるか、施設や自宅療養の場合は隔離対応をすることが難しい、デイサービス等利用時に陰性証明を求められるなどコロナの認知症の方への影響をテーマにグループワークするのも良いのではないかと。
- 免許返納の問題も多く聞く。返納に同意が得られず困るケースが多い。一方で、新見は車がないと生活ができないという地域でもある。5月に道路交通法の改正があり、タイミング的にも適したテーマではないかと。

まとめ

- ① 令和4年度は、2回の研修会実施する。
- ② 実務者向けの研修だけでなく、一般（認知症サポーター等）向けの研修を実施する。
- ③ 時期は、秋ごろに一般向けの研修、年明け頃に実務者向けの研修を予定する。
- ④ テーマについては、実務者研修は「認知症と免許」、一般向けは「地域で認知症の人を見かけた時の関わり方」など今後検討を進めていく。
- ⑤ 新型コロナウイルスに関する情報共有などの時間を設けることも検討する。

4. その他協議事項について

- 新見市地域包括支援センターより、「オレンジ通信にいみ」と「チームオレンジの取組の推進」についての案内。
- 備北保健所より、「岡山県の新型コロナ保健医療情報ポータル」のご案内。事業所や施設等で感染者が発生した場合の対応方法など新型コロナ感染症対策に関する情報を発信している。研修会の動画や施設等からの質問のまとめ等も随時更新しているので、事業所等の感染対策や日々の活動の参考にしていきたい。
⇒「岡山県 新型コロナ保健医療情報ポータル」で検索。
または、URL: <https://www.pref.okayama.jp/kinkyu/645925.html>
- 新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさくより、「認知症になっても安心して暮らせるまち にいみ」のリーフレットのご案内。
- 備中県民局より、施設等でコロナ陽性者が発生した場合、感染症対策に要する物品の購入、リモート環境整備の為の費用など「係増し経費」の補助金を受けれる可能性があるため周知をお願いしたい。また、コロナ陽性者の軽症者が増える中、入院ではなく施設や自宅での療養が基本になってきている。岡山県が中心となり対策を進めているところである。

5. 閉会 新見市地域包括支援センター 青木主幹より挨拶